



ShareTheMeal



United Nations
World Food
Programme

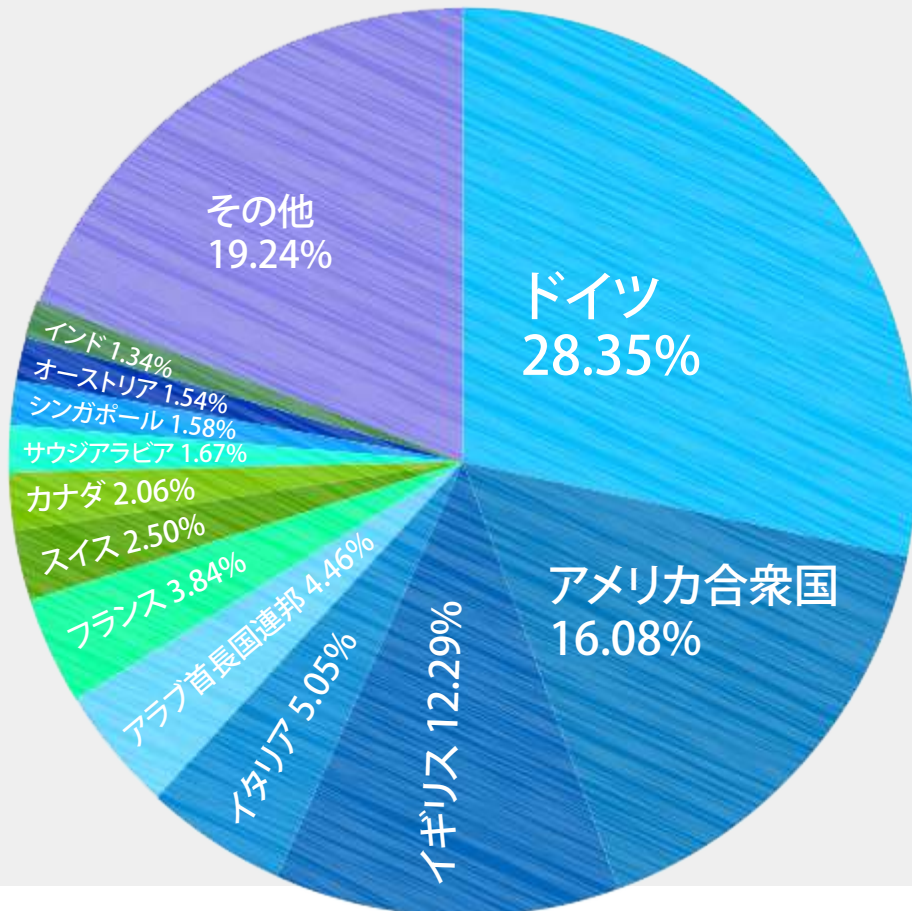


飢餓との闘いー2018年活動報告

私たちは力をあわせ、世界の飢餓との闘いを支援しました。

2018年はあなたにとって普通の年ではなく、世界を変えるような1年でした。182か国の129万9,667人が参加するShareTheMealコミュニティと共に、飢餓との闘いに参加して下さったからです。

世界中のみなさまが力をあわせて下さったおかげで、支援を必要としている人々のために合計1,132万1,483食がシェアされました。これは3秒ごとに1食以上がシェアされた計算になります。



私たちは力をあわせ、『愛の食卓』を支援しました。

昨年私たちは、さらに透明で革新的なシェア方法として『愛の食卓』をスタートしました。毎月定期的に寄付するこのコミュニティに9,059人のメンバーが参加。データ管理ツールSCOPEのおかげで、アプリ上でメンバーを現地家族とつなげるようになりました。『愛の食卓』のメンバーは、独占ストーリーと個人的アップデートをととおして、自分たちの寄付により現地家族が何を購入できたかを知ることができました。

私たちは力をあわせ、飢餓との闘いに参加するよう人々に呼びかけました。

昨年私たちはただ食事をシェアしただけでなく、友だち・家族・フォロワーたちに飢餓との闘いに参加するよう呼びかけました。既存のチームがチャレンジを設定し続けていくなか、新たに2,849チームが結成されました。カップルがチームを結成して結婚式の招待客に食事をシェアするよう働きかけたり、ランナーのグループが社会への貢献手段としてチームを結成したりしたほか、ブロガーたちは自分たちのコミュニティに食事をシェアするよう呼びかけました。

私たちは力をあわせ、危機にさらされた国々を支援しました。

世界の飢餓人口は8億2100万人—飢餓率が増加し続けているなか、あなたがシェアした食事の重要性はさらに高まっています。私たちは国連WFPと共に、危機状態に置かれた人々に食糧を提供しているだけでなく、これらの人々および地域社会の未来に投資しているのです。昨年私たちは12カ国以上の人々に対し、学校給食や食糧を提供したり、電子食料交換券や現金による支援を行いました。

私たちは力をあわせ、緊急事態に迅速に対応しました。

イエメンが世界最悪の飢餓危機に直面したとき、私たちはまず1,250家族に3ヶ月間食糧を提供するという目標をスタートしました。その後第2の目標をスタートし、食糧を人道支援に依存せざるを得ない家族を支援し続けています。

2018年9月、壊滅的な地震と津波がインドネシアのパルー一帯を襲いました。私たちはこの大災害の直後に技術支援を提供しました。

私たちは力をあわせ、難民たちに救援物資を届けました。

2017年8月に発生した武力衝突から避難するべく、90万人のロヒンギャがバングラデシュに避難しました。彼らがコックスバザールにある世界最大の難民キャンプにたどり着いたとき、彼らが緊急食糧を受け取れるよう支援しました。私たちは、2018年を通して食事シェアし続け、米・豆・植物油などの食糧を提供しました。また、電子食料交換券によ

アフリカ最大の難民人口を抱えるウガンダ。自国で続く暴力を逃れてきた南スーダンの人々が多数流入してきたためです。ごいっしょに私たちは食事をシェアし、9,000人の南スーダン難民に1ヶ月間食糧を提供しました。

私たちは力をあわせ、現地コミュニティを支援しました。

シリア危機が8年目を迎えたなか、私たちは最も弱い立場にある人々と食事をシェアし続けてきました。紛争によりシリア人とレバノン人の両方が被害を受けているレバノンにおいて、私たちはシリア人およびレバノン人の子どもたち7,000人に1年間学校給食を提供するという目標に向けて努力しました。

昨年をとおりパレスチナにおける人道的状況が悪化の一途をたどるなか、私たちは食事をシェアして、最も弱い立場にいるパレスチナの子どもたちを支援しました。その後この目標を延長し、食料不安が最も高いガザ地区に住む1,600人の子どもたちに1年間食料を提供することを目指しました。シェアされた食事のおかげで、現地家族に食糧支援だけでなく、自分たちで食材を購入できるよう電子食料交換券による支援も提供することができました。





2018年、私たちは力をあわせて世界を変えました。
今年はもっと多くのことを成し遂げましょう。

タイムズスクエアに設置したShareTheMeal電光掲示板から、アプリ上でメンバーを現地家族とつなぐ『愛の食卓』まで、私たちの努力は実にさまざまな形をとりました。大きなことから小さなことまで、私たちが実行したすべてのことは、飢餓のない世界という私たちのビジョンを達成するためのものでした。そして今年、私たちはもっと多くのことを成し遂げる用意があります。ごいっしょに飢餓をなくしましょう。